



令和2年 9月30日  
No. 6  
文責 校長 飯久保一男

**運動会 「三色の輝き 404名の絆 全速力で最後まで！」**

9月26日(土)運動会を開催しました。例年は、保護者及び地域の皆様にご参加いただき、盛大に開催している小笠原小学校の秋季大運動会ですが、本年度は新型コロナウイルス感染対策を最優先とし、ご案内させていただきました通り、午前中のみで開催で、内容を縮小して行いました。また、観覧をしていただく皆様が、なるべく密な状態にならないよう、人数の制限や入れ替えをさせていただく中で開催しました。

内容は縮小しましたが、気持ちは縮小することなく、子どもたちも教職員も熱い気持ちを持って取り組みました。様々な制限があった運動会でしたが、それが故に、コンパクトで、子どもたちはよく集中した運動会になりました。内容を表現運動とリレーに絞らせてもらいましたが、一人一人が主役になり、内容の濃いものになったと思っています。子どもたちは6年生を先頭によくがんばり、見ていただいた皆さんが感動していただける運動会になったと思っています。何より、ご観覧の皆さんが集中してご観覧いただいたことで、会場全体で子どもたちを主役にした運動会にできたと思っています。今年の運動会へのご理解と、ご協力に感謝いたします。



1・2年生 表現 「今日から俺は!! おがさはらバージョン」



3・4年生 表現 「2020おがしょうソーラン」



5・6年生 表現 「We get the victory」



1年生 リレー



2年生 リレー



3年生 リレー



4年生 リレー



5年生 リレー



6年生 リレー



## 峡中

# 登下校見守り活動20年

南ア・小笠原と山寺の住民有志

### 「子どもの笑顔生きがい」

村松 大輔  
松本飛馬  
(055)280-3230  
FAX 280-3231

南アルプス市小笠原、山寺の両地区の住民有志が、登下校中の児童生徒の見守り活動が続け、今年で20年目を迎えた。メンバーは「子どもの笑顔が生きがい。これからも見守ってきたい」と話している。

活動を続けてきたのは、同市柿平地区の老人クラブが2001年に立ち上げた「小中学生見守り交流活動隊」。先駆的な自主防犯ボランティアとして07年には文部科学省の学校安全ボランティア活動奨励賞を受賞した。18年からは小笠原、山寺地区の住民有志も参加し、現在は18人で活動している。

午前8時と午後3時に登下校する児童、生徒を見守り、犯罪や交通事故から守る「83（はちさん）運動」を展開。メンバーは交差点や横断歩道近くに立ち、徒歩や自転車の子どもたちに注意を払ったり、横断する際の誘導をしたりしている。

見守り活動だけでなく、青色パトロールカーによる防犯警戒や、南アルプス署と協力

9月19日（土）の山梨日日新聞の記事です。

見守り隊の皆様の活動には大変感謝をしております。子どもたちの安全・安心のため、夏の暑い日も、雨の日も見守り活動をしていただいております。

学校の使命の大原則は、子どもたちの命を守ることです。今年、コロナウイルスへの対策も含まれてしましますが、1日のうち、子どもたちの命の危険がある場面とってまず浮かぶのは、登下校です。教職員の目の届かない場面であり、交通事故をはじめ、不審者等との遭遇の危険が考えられ、心配な場面です。

保護者の皆さんやおじいちゃん・おばちゃん、子どもたちと一緒に登校をしてくださっている方もいますが、地域の子どもたちを地域の皆様が温かく見守ってくださり、地域で育てていただいていることを大変ありがたく思っています。ときには、子どもたちのトラブル（兄弟げんかや忘れ物・落とし物など）にも対応して下さっています。お礼を申し上げますと、逆にこちらがお礼を言われたり、「子どもの元気なあいさつや笑顔に励まされると」子どもたちをお褒めいただいたりします。

繰り返しになりますが、大変ありがたく思っております。これからもよろしくお願ひいたします。

して新入学児童に防犯グッズを贈るなどの取り組みも継続している。

今年、新型コロナウイルスの影響で臨時休校となり、約3カ月間、子どもたちの見守り活動を休止。杉本健隊長は「当たり前のように聞いていた子どもたちの声がなくなると、心にはつかりと穴が開いたように寂しかった」と振り返り、子どもたちは将来を担う大切な地域の宝、元気に楽しく学校に通えるよう、これからも活動を続けたい」と決意を新たにしている。

長年にわたる活動に対し、小笠原小の飯久保 男校長は「毎日必ず同じ場所で見守って登下校できている。大変ありがたい」と感謝している。